

(様式2)

3 事後評価の実施

(1) 実施時期

本計画終了後、施設利用者に聞き取りを行い、事後評価を実施した。

(2) 評価の方法

施設利用者に聞き取りを実施し、その結果を踏まえて事後評価を行った。また、次期施設整備計画の内容についても検討を実施した。

4 総合的な所見

施設整備計画の事業は、計画どおりに実施することができた。
今回実施した事業については児童・生徒や教職員からも高い評価を得ており大きな効果を上げている。
次年度以降も学校施設の老朽化対策や教育環境の向上を計画的に実施していく。

5 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

老朽化した上江小学校のトイレ改修工事を行い、校舎の児童用トイレを全て洋式化・乾式化することで児童が使用しやすいトイレとし、トイレ環境を改善することができた。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

真幸小学校のグラウンドは排水性が悪く、授業等に支障が出ていたが、グラウンド改修を行うことにより降雨後に水が早く引くようになり、授業等を円滑に行うことができるようになった。
また、近年の夏季の高温により児童・生徒が体調不良を訴える事案も見られていたが、中学校・小学校の普通教室・特別教室等の一部に空調設備を整備することで児童・生徒が快適な環境で学習できるようになった。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
上江小学校	(1)	07	大規模改造(トイレ)	校	R	H29.11～H30.2	H30.2.23		
真幸小学校	(4)	09	屋外教育環境	-	-	H29.9～H30.2	H30.2.23		
飯野中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	H30.5～H30.9	H30.9.5		
加久藤中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	H30.5～H30.9	H30.9.5		
真幸中学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	H30.5～H30.9	H30.9.5		
岡元小学校	(4)	07	大規模改造(空調)	校	-	H30.5～H30.9	H30.9.5		